

# 幼児の服装について (6)

東京女子高等師範學校教授 成 田 順

前號に於ては女兒服について述べましたが本號に於ては男兒服のこころを記しませう。

男兒服も極小さい時は女兒服と殆んど同様でよいと思ひます。三歳位から半ズボンをはき上衣を着ます。普通上衣とズボンは同地質の布を用ひますが、時には衿ミカフスとズボンと同じ布を用ひ、其他は別布にするこころもあります。又上衣をシャツブラウスにしてズボンをつける場合もあります。

## 用布の種類

夏はギンガム・ポプリン・綾木綿・麻・セル等

冬はサージ・メルトン其他薄地の毛織物

極小さい子供には黒のベルベットも用ひます。ブラウスには夏は多くポプリン・富士絹を冬はチル・セルの類を用ひます。

男兒のこころであるからなるべく堅牢な地質を選び簡素な服装にして運動・動作に便利なやうに考へるべきであります。又仕立方に於ても實用を主とし、徒らに技巧を要するものをさけ、ポケットの如きも簡単な縫ひつけのものでよいと思ひます。

## 半ズボン

尋常小學校を終る頃迄は普通半ズボンにして居りますので幼兒の頃は無論半ズボンでよいと思ひます。半ズボンはブラウスの上になる場合と、上衣の下になる場合とがありますが何れでも同じ製圖でよろしく思ひます。

半ズボンが上になる場合には上部の形を色々に変へても作ります。

小さい子供の膝上は、普通上部と下部とを左右縫合せて其間をあけて使用に便にしますが、又縫合せてしまふ人も

あります。脇の上部は左右ともあけておいて着脱に便にしておきます。しかし近來は何事にも簡單を尊ぶのでありませんが、この半ズボンの如きも女兒のズロースと同じ様に胯上も脇も全部縫ひ合せて上部にゴムテープを通し使用に便利にして居ります。なほ子供用としては普通紐のズボン吊を用ひずに、ウェスト又はブラウスに釦をつけて吊るやうに致します。

製圖には身長ミ臀圍ミ胸圍ミの寸法が必要であります。小さい子供は胸圍ミ臀圍ミが略々同じでありますから胸圍の寸法を使用する人もありますが腰のあたりにつけるものでありますから臀圍を基として製圖するのが解り易いかと思ひます。

半ズボンの丈は身長 $\frac{3}{10}$ 乃至 $\frac{3.5}{10}$ に致します。小さい子供は短いのを喜びますし、それが可愛く見えるのであります。丁度膝の所では屈伸に都合が悪いから普通は膝の上迄に致します。

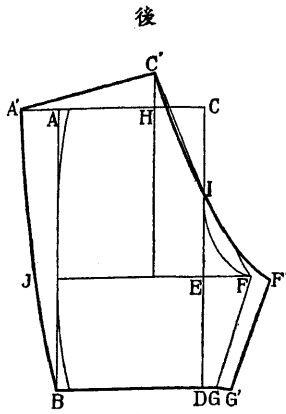
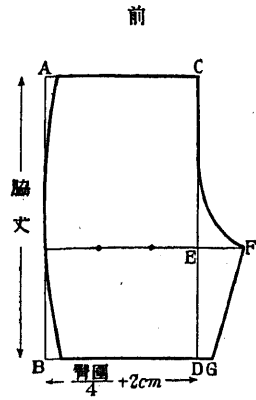
### ① 型紙の裁方

前

- 1、ABは脇丈(身長 $\frac{3}{10}$ 乃至 $\frac{3.5}{10}$ )
  - 2、ACは臀圍の $\frac{1}{4}$ に二センチ加へたもの
  - 3、CEは胯上(身長 $\frac{1.8}{10}$ 乃至 $\frac{2}{10}$ )
  - 4、EFはBDの $\frac{1}{3}$
  - 5、CFは前胯上の線 EFの一・五倍をE點より上に取り圖のやうにくります。
  - 6、FGは前胯下G點はD點より一・五種乃至二種外
  - 7、脇の線 上はC點より胸圍 $\frac{4}{4}$ に二種加へたものを取り、下はB點より一・五種取つて脇の線を引きます。
- 殊にお腹の大きい子供はC點より少し出して前胯上を定め脇の上部も真直にしておきます。

後

- 1、CHはACの $\frac{1}{3}$
- 2、HCは前後の差(CEの凡そ $\frac{1}{5}$ )
- 3、F'點はF點より二種外、さうしてGFに等しくGF'を取りF'點を定めます。
- 4、C'F'は後胯上の線 C'I及びI'F'に線を引き圖の



やうにくりま

す。(I 點は C

E の中央)

5、F'G' は後跨

下 G' 點は G

點より一・五

種外

6、C'A' は後の

上 胸圍 4 に

二種加へたも

の

7、A'JB' は脇

の線 J 點は

A'B' 線より二

種外に取ります。  
 臀圍と胸圍との差が少い時には後の上にクセを取る  
 必要はありません。

脇明 丈の半分程あけておきます。

前跨上の明 F に點より四種上つた所から一〇種以上  
 をあけます。それ故當布は幅三種丈は明の寸法より一  
 種つつ多くしてお  
 きます。

きます。

臀當 子供物は割

合に大きく取りま

す。

後跨上の凡そ

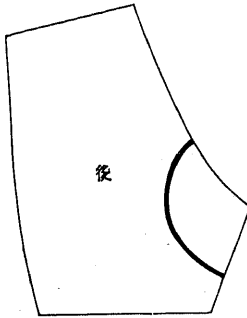
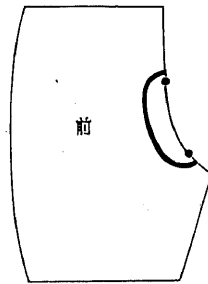
1/3 乃至 2/5 を

上へも横へ取り下

の方へはそれより

少し少なく取りま

す。



② 布の裁方

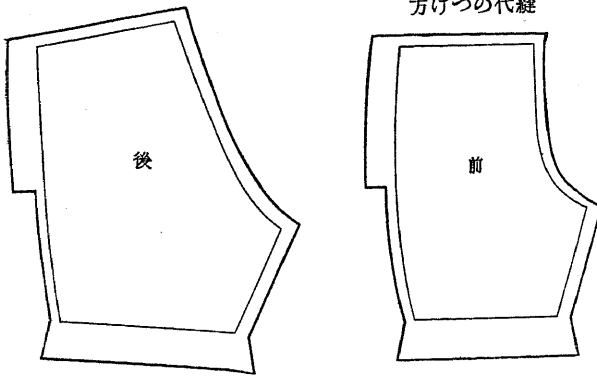
前跨上當布及び臀當の取り方

型紙の縦横の線を其まゝ布目に合せて裁ちます。布幅  
 の都合により横に並べて取る時縦に並べて取る時と  
 あります。

縫代のつけ方

胯上の前は一種、後は一・五種、胯下は前後とも一・五種、脇は上半分は三種下は二種、上部は一種、裾は四種内外取ります。前胯上當布及び臀當は周圍に一種を

方けつの代縫



取ります。

小さい子供の物は總裏にするに却つて簡單に出来ませ。裏布は普通キヤラコ・スレーキ・新毛等を用ひます。

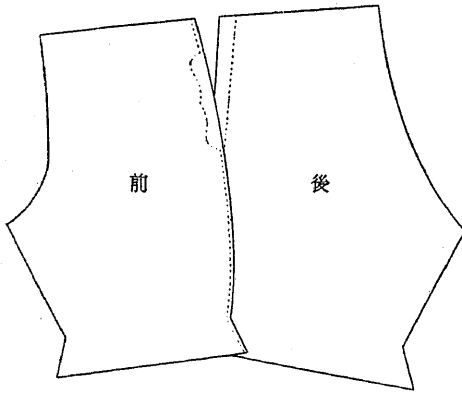
③ 仕立方

(1) 脇明のもの  
1、脇の始末

脇明は丈の凡そ半分ミし前後ミも別々に始末します。

後の明の部分は脇の出来上り線より二種持出してそれに見返しをつけ芯を一枚入れ、脇の出来上り線にミシンをかけます。

次に脇の下半を前後縫合せます。



前の明の部分は脇の線通りに折り中に一枚の芯を入れ布の端を

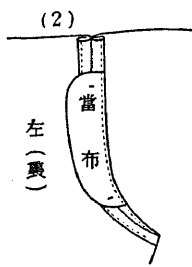
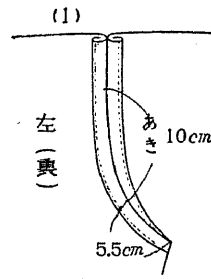
折つて表から飾りのミシンをかけておきます。

次に下半の縫目を前に折りおさへミシンをかけ、明のミ

まりを三四回ミシンでこめておきます。

## 2、前跨上の始末

圖(1)のやうに下から五・五糎(内一・五糎は縫代)上つた所から凡そ一〇糎の明の間はミシンをかけずに假



縫のまゝになし他は

ミシンをかけ割つて

表から兩側におさへ

ミシンをかけます。

此の一〇糎明けた所

へ當布をつけます。

先づ當布の三方を縫

ひ表に返しておさへ

ミシンをかけこれを

左身の裏にあて表か

ら右身の割ミシンの通りに今一度ミシンをかけま

す。此時明のこまり上下は門留のかはりにミシンを

三四回かけておきます。圖(2)

## 3、後跨上縫

後の跨上を充分のばし左右を合せて縫ひ割ミシンを

かけます。縫目の所を充分のばして縫はないミ屈ん

だ時に綻び易いのであります。

## 4、臀當附

臀當の後の中央を合せて縫ひ割ミシンをかけ、身頃

に合せ周圍を折つてミシンをかけるか、まつりつけ

ておきます。

## 5、跨下縫

左右の跨下を縫つて割ミシンをかけます。

## 6、裾の始末

長い分を折返してミシンをかけるか、又はまつりぐ

けに、厚地の時は千鳥掛にします。

## 7、上部の始末

腰布 幅六糎

丈前後の幅の長さこ折代二糎

腰布はキャラコ・スレーキ・新毛等を普通に用ひます

が、木綿の時には共の布を使つてもよろしい。

身頃の上部に腰布を合せて縫ひ芯布を一枚入れ他の

三方を折つて表からおさへミシンをかけておきます。

8、仕上げ

脇の縫目ミ胯下の縫目ミを合せてたゝみつけアイロンをかけます。毛織物には濕布の上からアイロンをかけ仕上げをします。

9、穴かがり及びスナップ附

前に四つ後に四つの穴をかけてかがります。

脇明ミ前跨上明にスナップ一個つつをつけます。

(2) 脇明で脇にポケットのついてゐるもの

1、脇の始末

ポケットの口 凡そ臀圍の  $\frac{1}{6}$

ポケット布 丈 口明の二倍に四纏加へたもの

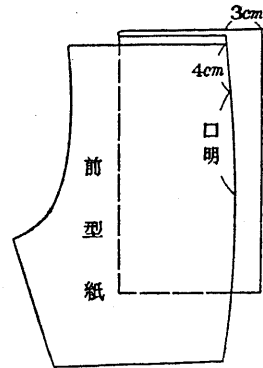
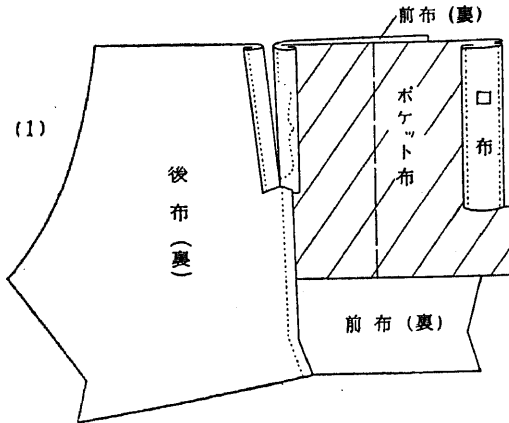
幅 前幅の  $\frac{2}{3}$  の二倍に三纏加へたもの

ポケットの布は普通キヤラコ・スレーキの類を用ひます。

ポケットの口布 丈 口明に八纏加へたもの

幅 五纏

さき大の布トッケボ

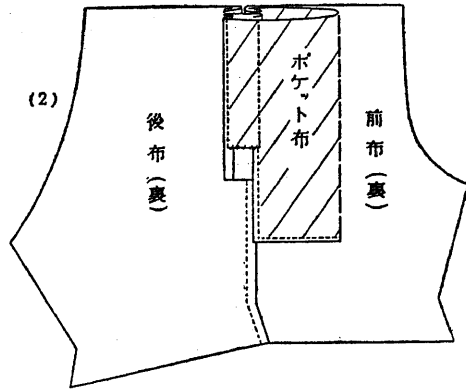


四四

脇の下部を前後合せてミシンをかけます。後の明のミマりに斜に切込を入れ出来上り線より折り更に布の端を折つて表から飾りミシンをかけます。圖(1)次に圖

(2)のやうにポケット布に口布をつけます。

前布の脇を出来上りの線に折りポケット布の端を芯



にして飾

りミシン

をかけま

す。圖(1)

次にポケ

ットを袋

に作りま

す。

2、前跨上

の始末

3、後跨上

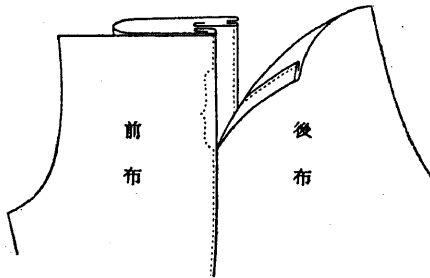
4、臀當附

5、脇下縫

6、裾の始末

7、上部の始末

脇の出来上りの圖



8、仕上げ

9、穴かがり及びス

ナップ附

2、以下何れも前

ミ同じにしま

す。

前跨上明は四つの所

より四種縫ひ上は裏

腰布のつく所迄あげ

てもよろしいので

す。

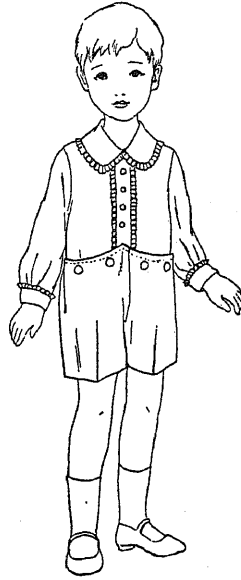
以上は極普通の半ズボンについて記したのでありますが  
次の出来上り圖は丸形の衿のついたブラウスに半ズボンを  
つけたのでこの半ズボンは上部の形が少し變つて居りま  
す。

少し考へていただくに今迄女兒服で説明した事項ミ半ズ  
ボンの所で説明した事項ミで大抵お出来になることと思ひ  
ます。

四歳用假定寸法

身長 九二糎

胸圍 五〇糎



① 用布の種類

上下とも同じギンガム・ポプリン・綾木綿・麻等で作つても、上に富士絹・セル、下に薄地の毛織物を用ひてもよからうと思ひます。

ブラウスに白を、半ズボンに濃い茶・紺・黒等を配するミニ層引立つて見えます。

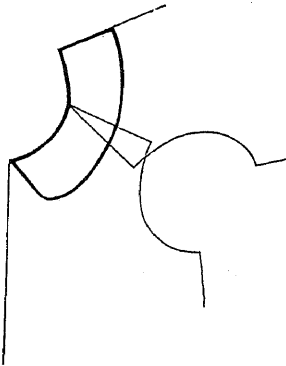
② 型紙の裁方

胴 簡單に圖のやうに裁ちます。

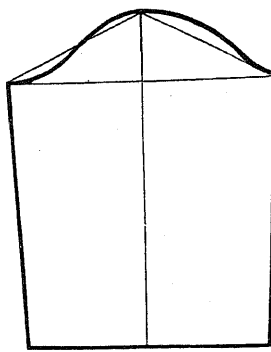
1、丈 三一糎

2、ゆるみ 四糎

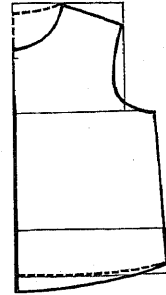
衿



袖



身頃



3、衿ぐり

胸圍 10

4、脇の線

裾で一糎程

ひろげま

す。

袖

1、丈 二八

糎

2、山の高さ

袖ぐりの

$1\frac{1}{5}$

3、袖口 二

二糎

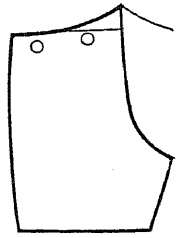
衿

1、肩の重り

三糎

2、幅凡そ





五・五纏

半ヅボン

型紙の裁方は前に説明したのと同じであります。上部の形が少し變つて居ります。中央で四纏程上げます。

③ 布の裁方

ブラウス

前中央に下前の方は五纏上前の方は二纏其他は一纏取つて裁ちます。

半ヅボン

前に述べた通り

④ 仕立方

◎ブラウス

1、前明の始末(男兒は前の重ね方左が上)

下前は中央より一・五纏を出して折り三纏の見返し

こしてミシンをかけます。

上前は四纏幅の布を裁ち左の方に幅一纏位の飾布をつけ、右の方は身頃を見返し布で飾布を挟んで縫

ひます。

次に左の方を身頃にくけつけておきます。

2、肩及び脇の袋縫

3、裾の始末

4、衿及び衿附

衿の周圍を縫ふ時に飾布を挟んで縫ひます。衿附は身頃ミ斜布で衿を挟んで縫ひます。前の方衿がゆるまないやうに注意

5、袖及び袖附

カフスの幅出来上り四纏位にします。

袖下を縫ひカフスを作つてつけ、袖をつけます。

6、仕上げ

7、釦附ミ穴かがり

ブラウスの前中心に釦附ミ穴かがりをなしヅボンつりの釦を出来上り圖のやうにつけます。釦の数は適宜斟酌してもかまひません。又ブラウスは前の釦を飾こし中にスナップをつけてもよろしい。

◎半ヅボン

上の形は前に述べたのき變つて居りますが仕立方には變りありません。